

令和8年第1回北本市議会定例会請願文書表

受 理 番 号	議請第1号
受 理 年 月 日	令和8年2月5日
件 名	政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める議会の意見書提出を求める請願
請願者の住所 及び氏名	新日本婦人の会北本支部 支部長 鳥 沢 さち子  北本9条の会 代表 杉 田 仙太郎 外261名
請 願 の 趣 旨	別記のとおり
紹介議員氏名	桜 井 卓、小久保 博 雅、毛 呂 一 夫、 湯 沢 美 恵、中 村 洋 子

【請願趣旨】

ロシアによるウクライナ侵略やイスラエルによるガザ侵攻は、無法で残虐な戦争の上に、核兵器使用の危険を増大させています。その上、現在は核保有国やその同盟国による「核共有」など新たな核軍拡競争が起こっています。「核抑止論」の破綻は明らかではないでしょうか。

核兵器禁止条約は、2017年に国連加盟国の3分の2にあたる122か国の賛成で採択され、2020年に50か国が批准し2021年に発効、2025年9月現在95か国が署名、74か国が批准しています。この条約は、核兵器が破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際人道法、国際人権法に反するものであると断罪し、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇にいたるまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止しています。条約は、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記しています。核兵器禁止条約は、被爆者とともに多くの日本国民が長年にわたり求めてきた核兵器完全廃絶につながる画期的なもので、人類の希望です。

2024年12月、日本原水爆被害者団体協議会はその長年の核兵器廃絶と被爆者救済を求める運動に対してノーベル平和賞を受賞しました。これは、被団協のみならず日本国民、世界中の核兵器廃絶を願う人々を励まし勇気と希望を与えています。ともに心から喜び合いたいと思います。

今こそ唯一の戦争被爆国の日本の政府が、被爆後80年今なお苦しみとたたかい続けている被爆者と核兵器廃絶を求める日本国民の声を受け止め、核兵器禁止条約を批准し、核戦争のない世界をつくる先頭に立って力を尽くすことを切に願います。

非核平和宣言都市である北本市議会として、衆参両院議長及び内閣総理大

臣に下記意見書を提出していただくようお願いいたします。

**【請願事項】**

「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める意見書」を国会及び政府に提出してください。